

経営比較分析表（令和5年度決算）

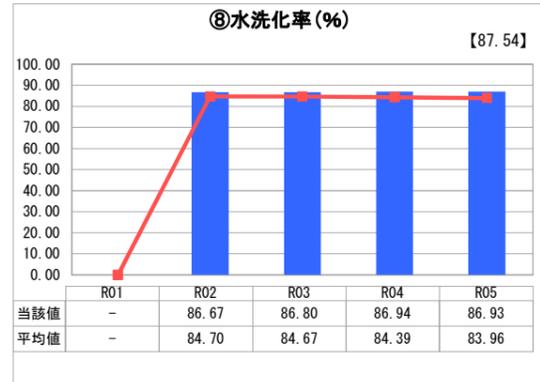
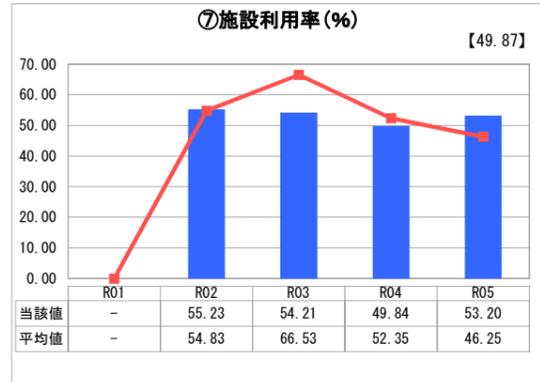
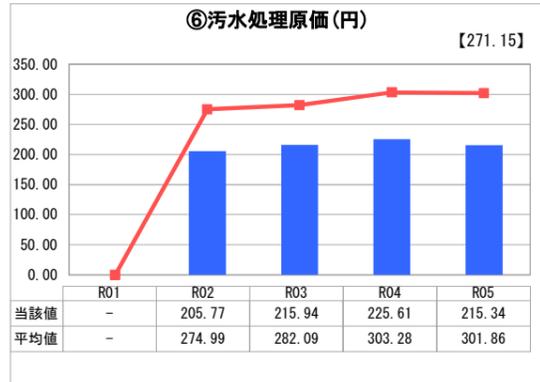
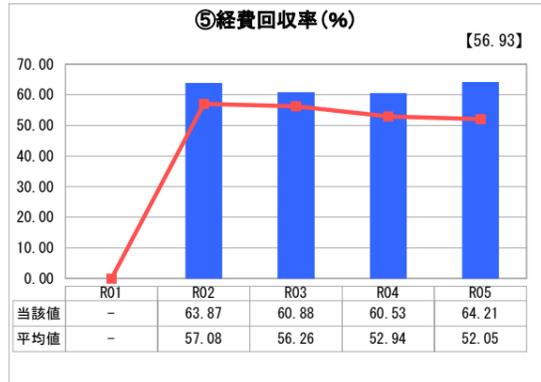
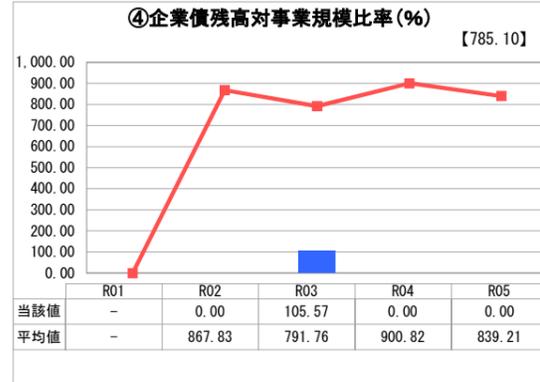
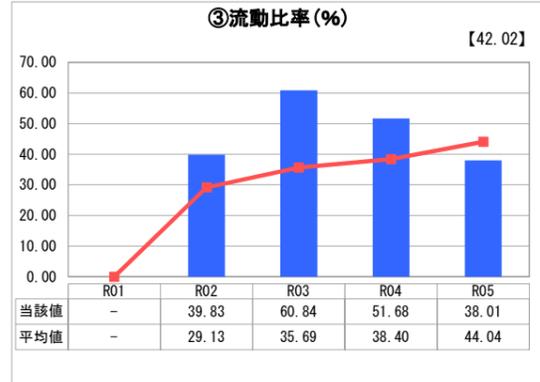
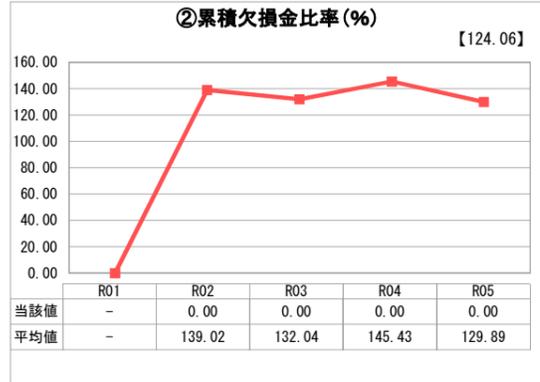
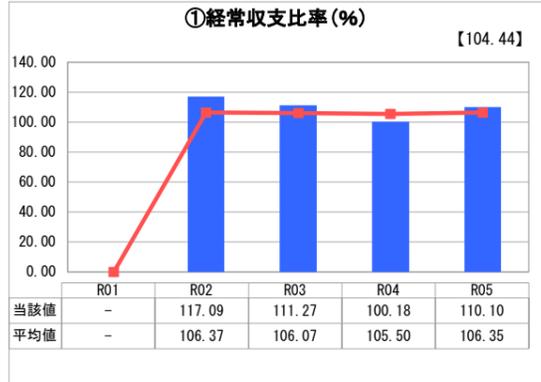
香川県 丸亀市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	66.18	2.39	95.97	2,530

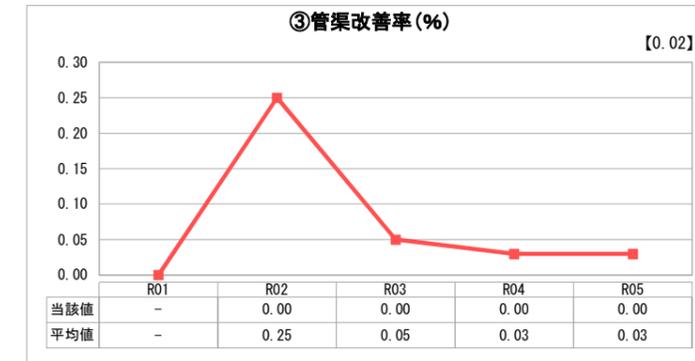
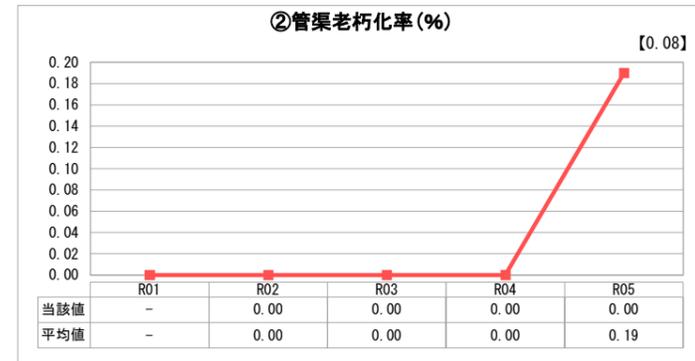
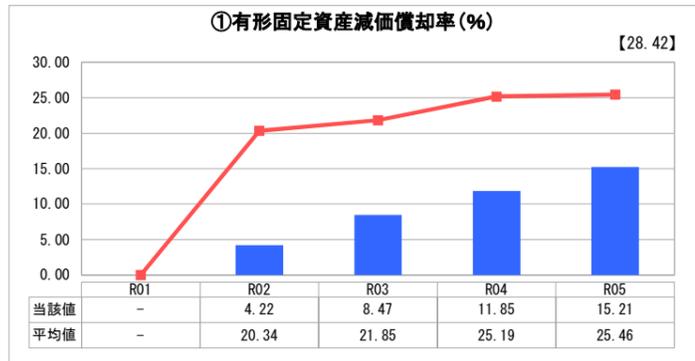
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
111,196	111.83	994.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,647	1.23	2,152.03

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

一般会計からの繰入金により賄われている部分は大きいですが、経常収支比率は100%を超え、類似団体平均値を上回ることができており、また汚水処理原価が類似団体平均値を下回っていることから、汚水処理も比較的効率的に実施されているものと思われる。しかし、経費回収率が100%を下回っているため、使用料収入で汚水処理費を賄っていない状況は続いている。

企業債残高対事業規模比率については、使用料収入が企業債の償還に対して不足しているため、その償還費用を繰入金と資本費平準化債で賄っていることから、類似団体平均値を大きく下回ることとなっている。

水洗化率は、わずかに類似団体平均値を上回ることができているが、横ばい状態である。今後も接続依頼を継続し、水洗化率の向上に努めていく。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率が類似団体平均よりも大きく下回る要因については、令和2年度より地方公営企業法の一部適用となる際に各固定資産の取得価格を、その時点での残存価格で計上したことによるものである。4箇所の農業集落排水施設は、供用開始から約20年程度と比較的新しいこともあり管渠老朽化率が低く、管渠更新も行っていないため、管渠改善率は0%となっている。しかし、設備の老朽化に伴い長寿命化工事の実施が見込まれることから、平成28年度に実施した農業集落排水処理施設の機能診断の結果を受けて、平成29年度に施設の最適整備構想を策定した結果、4地区にあるそれぞれの処理場を廃止し、公共下水道へ接続することが今後の事業運営として最も有効となるという結論に至ったため、現在は農業集落排水処理施設の公共下水道への編入に向けた工事を進めている。

全体総括

農業集落排水施設の整備は既に完了しており、経費は主に維持補修費であるが、経費回収率に現れておらず、使用料収入で汚水処理費用を賄うことができていない。今後も困難な経営状況が続くことが見込まれることから、事業を運営していくためには、公共下水道へ接続することが最も有効となるという結論に至ったため、農業集落排水処理施設の公共下水道への編入に向けた工事を進めているところである。

本市の下水道事業においては、令和2年度から地方公営企業会計を導入し、経営状況の可視化を図っている。経営状況は、経常収支比率が100%を上回ってはいるものの、一般会計からの繰り入れによる部分は大きく、一方で人口減少により大幅な使用料収入の増加は見込めない状況下にあることから、今後も事業の改善は必要となってくる。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。